

ブランパンがドキュメンタリー映画を公開

『Fifty Fathoms – The history as told by the pioneers who created it (フィフティ ファゾムスと、それを作り上げたパイオニア達が語った歴史) 』

ブランパンが、長編ドキュメンタリー映画『Fifty Fathoms – The history as told by the pioneers who created it (フィフティ ファゾムスと、それを作り上げたパイオニア達が語った歴史) 』の公開を発表します。フィフティ ファゾムスの発明者であるジャン-ジャック・フィスター、これをフランス海軍のダイバーズウォッチとして採用したロベール・“ボブ”・マルビエ大尉、そしてこのアイコンックなタイムピースを蘇らせたブランパンの社長兼 CEO マーク A. ハイエクへのインタビューを交えたこの映画は、アメリカのエミー賞俳優で作家のピーター・コヨーテ氏をナレーションに迎え、このタイムピースの創作、そしてその 70 年近くにおよぶ進化において極めて重要なできごとについて語ります。

1952 年に、当時のブランパンの共同 CEO であったジャン-ジャック・フィスターが、熱心なダイバーとしての自身の潜水体験を活かして開発したフィフティ ファゾムス。この時計は、ダイバーズウォッチという分野の発展において極めて重要な地位を占めています。その機能とデザインは、当時のマイルストーンとなっただけでなく、その鋭敏な感覚により、以降の時計業界全体におけるダイバーズウォッチのジャンルを確立したのです。

この映画には、フィフティ ファゾムスの豊かな歴史を彩る逸話が満載されています。その中のひとつが、ジャン-ジャック・フィスターがダイビング中に経験した緊急浮上まつわるものです。ある時彼は、潜水中に時間の感覚を失い、その結果、酸素不足に陥ってしまいました。この経験から、彼は水中での使用に適した信頼できる計時機器の重要性を悟ったのです。フィスターによる主要な発明はすべて特許を取得していますが、この映画では、ブランパンのヴィンテージ部門のマスターウォッチメーカーがそれらを解説します。また、シェイクスピアの戯曲『テンペスト』に由来する、フィフティ ファゾムスという名前のインスピレーションについても明かされます。さらに、アメリカ海軍が実施した、数年にわたるテストプログラムの物語も詳しく描かれています。このプログラムにより、フィフティ ファゾムスは同軍のダイバーズウォッチに採用され、有名な「MIL-SPEC」モデルの誕生につながりました。そのほかにも、ドイツ海軍のエピソードと「BUND No Rad」の概要など、さまざまなテーマが盛り込まれています。

このドキュメンタリー映画は長年のリサーチから生まれた作品で、特にフィフティ ファゾムスの歴史を通して重要な役割を果たした人々へのインタビューが多数含まれています。そのリサーチの中には、ブランパンのアーカイブから発掘されたものや、現在

は機密解除されたアメリカ海軍のテストプログラムの記録から得たものもあります。さらにこの映画では、ブランパンが「オーシャン コミットメント」イニシアチブの一環として支援した、ナショナル ジオグラフィック協会による「原始の海」探検、そしてローラン・バレスタ氏のゴンベッサ・プロジェクトからの特別な映像も披露されます。

この 2 部構成のドキュメンタリー映画は、ブランパンのウェブサイトの専用ページ（www.blancpain.com/fifty-fathoms-collection/history/no-rad-2021#documentary）でご覧いただけます。